

ひだかの魅力 再・発・見

今回の「ひだかの魅力再発見」は、「野々宮獅子舞保存会」をご紹介します。

野々宮獅子舞保存会

伝統文化を守るためには、
後継者の育成が欠かせません

野々宮神社の獅子舞は、元禄3(1690)年の太鼓裏面墨書きから、江戸時代前期にまでさかのぼる伝統のあるもので、長く氏子の皆さんによって、豊作の感謝、厄払いとして10月の神社例祭で奉納されてきました。野々宮獅子舞保存会はそれを母体とし、獅子舞の継承を図り、地域のコミュニティー意識の高揚と地域社会づくりに資することを目的に、昭和60年に結成さ



▲明治安田クオリティオブライフ文化財団から目録贈呈を受ける野々宮獅子舞保存会

れしました。現在では奉納のほか、市民まつりや国道、県道開通式典などのイベントにも参加しています。今回、明治安田クオリティオブライフ文化財団の「地域の伝統文化」助成を利用して太鼓の修理を行うこととなり、その目録贈呈式が6月7日に行われました。保存会では、小学生への指導も積極的に行っています。昨年10月には、獅子舞講習会を実施しました。全国的に民俗芸能の存続が大きな問題となっている昨今、後継者の育成にも力を入れています。



▲「野々宮の獅子舞」
日高市無形民俗文化財(昭和57年指定)



山本大翔ちゃん(1歳1か月)



小澤莉愛ちゃん(1歳2か月)



中村優真ちゃん(2歳10か月)

わが家の
愛撮る

お子さんの写真を掲載しませんか？電子申請で簡単に投稿できます。➔

編集室

広報ひだかは、今月号で666号を迎えました。広報ひだかの人気コーナー「わが家の愛撮る」。掲載枠を3枠に増やしましたが、現在、多数の応募をいただいているため、全てのお子さんを掲載することが難しくなっています。初めて応募されたお子さんを優先させていただきますので、よろしくお願います。(一)

健康のため続けていることは

運動普及推進員に聞きました!

松富重晴さん(武蔵台)

丹下美恵子さん(南平沢)